

事業所名 こどもサポート教室きらり桃花台校第一単位

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。					
支援方針		私たちは「その子」をしっかり見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。					
営業時間		10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの身体に関するアセスメントを支援者がしっかりと把握し、活動中の表情や様子を常に把握し配慮をした関わりを持ちます。</li> <li>・基本的な生活スキル（挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方）を獲得できるようサポートします。</li> <li>・事業所内外での安全な過ごし方について、視覚支援などで分かりやすく伝え、理解を促します。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが、発想を豊かにものや道具に触れる活動を提供します。日常的に生かせるはさみ・のり・箸・スプーン等の道具に触れ、手先の運動と共に、使い方や危険性なども認識できるようルールの提示も行います。</li> <li>・子どもの感覚の特性や偏りを踏まえ、五感で感じ取れる活動や感覚刺激を満たすような活動を行います。</li> <li>・微細運動や粗大運動を通して、物に合わせて体が使えらるよう支援します。</li> <li>・必要に応じて声をかけたり子どもの姿勢保持を補助するツールを使いながら、正しい姿勢を意識することや正しい姿勢で活動する時間が増えるようサポートします。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達段階を見極め、興味の幅を広げ、困難さがある部分を支援者が理解した上で全体の成長を促します。</li> <li>・子どもの特性について一緒に関わりながら理解しようと努め、認知の偏りを踏まえた対応に結び付けていきます。</li> <li>・活動を通じて物の扱い方や遊びの意図を理解出来るよう支援します。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な支援者との関わりの中で他者との円滑なコミュニケーションが学べるように支援を行います。また同年代とのやり取りにつながるよう気持ちを言葉やジェスチャーなどで表出し、受け止めてもらうことで自分の気持ちを伝える心地よさを体験していきます。</li> <li>・子どもの発達段階に応じて、言葉の理解や表出が豊かになるよう支援します。</li> <li>・子どもの発達段階に応じて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。</li> <li>・状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう、その都度声かけをしたり、やり取りが楽しめるよう言葉を引き出したり気持ちを受け止めていきます。</li> <li>・場面をイメージできるような教材を使用しながら状況に応じた行動が出来るように支援します。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者とのコミュニケーションを通して、自分の苦手なことや初めての事にも挑戦する気持ちを持ち、「成功体験」や「失敗体験」から様々なことを学び、自信が得られるよう支援します。また支援者と一緒に取り組むことで抵抗感を軽減し、様々な経験を積み重ねられるように活動を提示していきます。</li> <li>・支援者や他児と楽しく遊ぶことを通じて、順番やルールを守ることや物を大切に扱うことなどの社会性を育めるよう支援します。</li> <li>・身近な支援者と関係性を築く経験を基にして、他児や集団の中で相手のことを意識し尊重できる関係性を育めるように支援します。</li> </ul>					
家族支援	事業所スタッフは直接的支援を、本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップします。療育者としての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を見学または参加いただいた上で、特性や、特性を踏まえたお子様への関わり方等に関して相談援助を行います。	移行支援	登園する園や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。関係機関へ必要に応じて個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。				
地域支援・地域連携	地域の方からの信頼を得られるように支援の質を向上させるように努力します。連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議します。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での子どもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。	職員の質の向上	法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。				
主な行事等	季節に応じた制作やクッキング、イベントの開催。（七夕、夏祭り、ハロウィン・クリスマス、お正月や節分などにちなんだ制作や活動）月1回、児発の小集団活動を行い、季節の行事やルールのある活動を行っています。						

事業所名

こどもサポート教室きらり桃花台校第二単位

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

1 月

21 日

法人 (事業所) 理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。						
支援方針		私たちは「その子」をしっかり見つけ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。						
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの身体に関するアセスメントをしっかりと把握し、活動中の表情や様子を常に観察して配慮をした関わりを持ちます。</li> <li>・基本的な生活スキル (挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方) を獲得できるようサポートします。</li> <li>・事業所内外での安全な過ごし方について、子どもの特性に応じて視覚支援などを適宜活用しながら分かりやすく伝え理解を促します。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自身で選択が出来、発想を豊かにものや道具に触れる活動を提供します。日常的に生かせるはさみ・のり・箸・スプーン等の道具に触れ、手先の運動と共に、使い方や危険性なども認識できるようルールの提示も行います。</li> <li>・子どもの感覚の特性や偏りを踏まえながら、五感で感じ取れる活動や感覚刺激を満たすような活動を行います。</li> <li>・微細運動や粗大運動を通して、体の使い方が向上するよう支援します。</li> <li>・子どもの姿勢保持を補助するツールの使用や声掛けを行い、正しい姿勢を意識することや正しい姿勢で活動する時間が増えるようサポートします。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達段階を見極め、興味の幅を広げ、困難さがある部分を支援者が理解した上で全体の成長を促します。</li> <li>・子どもの認知の特性について一緒に理解を深めながら、認知の偏りへの気づきや適切な対応に結び付けていけるよう支援します。</li> <li>・感覚を十分働かせられる活動を通して、物の扱い方や仕組みなどの理解を促していけるよう支援します。</li> </ul>						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な支援者との関わりの中で他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。また同世代とのやり取りに繋がるよう、自分の気持ちを言葉やジェスチャーなどで表出し受け止めてもらうことで、気持ちを伝える心地良さを経験していきます。</li> <li>・子どもの発達段階に応じて、言葉の理解や表出が豊かになるよう支援します。</li> <li>・子どもの発達段階に応じて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。</li> <li>・場や状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう、その都度声掛けをしたり、やり取りの中で行動を振り返りながら適切な行動を確認したり、場面をイメージできるような教材を使用しながら状況に応じた行動ができるように支援します。</li> </ul>						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人とのコミュニケーションを通して、自身の苦手なことや初めての事にも挑戦する気持ちを持ち、「成功体験」や「失敗体験」から様々なことを学び、自信が得られるように支援します。また抵抗があることも支援者と一緒に取り組むことで、抵抗感を軽減させ、様々な経験を積み重ねられるように活動を提示していきます。</li> <li>・支援者や他児と楽しく遊ぶことを通じて、順番やルール、約束を守ることや物を大切に扱うことなどの社会性を育めるよう支援します。</li> <li>・身近な支援者と関係性を築く経験を基にして、他児や集団の中で相手のことを意識して尊重できる関係性を育めるように支援します。</li> </ul>						
家族支援		事業所スタッフは直接的支援を本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合、現場で迅速に対応、本部は丁寧にバックアップします。療育者としての知識経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を見学または参加いただいた上で、特性や特性を踏まえたお子様への関わり方等に関して相談援助を行います。			移行支援		登園する園や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。関係機関へ必要に応じて個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。	
地域支援・地域連携		地域の方から信頼を得られるように支援の質を向上させるように努力します。連携会議を定期的で開催し、情報収集・役割分担について協議します。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。			職員の質の向上		法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。	
主な行事等		<p>※各校舎記入</p> <p>季節に応じた不定期イベントの開催。(夏祭り・ブラジルのこどもの日・クリスマスなど)</p> <p>週1回、児発・低学年の小集団活動を行っています</p> <p>※ブラジル人スタッフも在籍しており、ポルトガル語圏の方を対象とした個別療育も行ってまいります。</p>						